

日本史授業プリント近代45(117)日本のファシズムと戦時体制

3年 組 番 _____

ファシズム体制の形成 ☆日本型ファシズム…¹天皇制の下に軍部や右翼がファシズム的支配

²_____…天皇統治の正統性・永続性を強調する歴史観

『³_____』…文部省思想局発行(1937.3)→全国の学校・官庁へ配布

……古事記・日本書紀を基に国体明徴とその尊厳、君臣の大義を説く
日本は天皇中心の家族国家とする 「陛下の赤子」

4近衛文麿内閣

⁵教学局の設置(1937)…文部省思想局を改変 国家主義育成 『臣民の道』(天皇と国家への忠誠を強調)

⁶国民精神総動員運動(⁷1937)…戦争遂行のため⁸軍国主義思想の vt45y注入

「⁹挙国一致、^{じんちゆうほうこく}尽忠報国、^{けんにんじきゆう}堅忍持久」がスローガン

¹⁰_____ (1938～)…各地で各工場ごとに設置(労働組合を解散)「労資一体・産業報国」

平沼騏一郎内閣

¹¹興亜奉公日設置(1939～)…毎月1日、神社参拝・勤労奉仕・禁酒などを強要

☆¹²_____運動(1940～)…¹³近衛文麿中心 独・伊を模した一国一党をめざす 軍部も歓迎

14近衛文麿(II)内閣

¹⁵_____成立(¹⁶1940)…上意下達機関 {¹⁷総裁は首相、支部長は知事から
→下は¹⁸部落会、¹⁹町内会、²⁰_____に及ぶ

政友会・民政党・社会大衆党ら既成政党は解散 →²¹翼賛議員同盟を結成

さまざまな団体が 大政翼賛会の傘下に …戦争遂行や国民の動員に役割大

<例>²²大日本産業報国会(1940)、²³大日本青少年団(1941.1)、²⁴大日本婦人会(1942)など

²⁵皇紀二千六百年記念式典(1940)…神武即位より2600年として皇居前広場で5万人の式典

²⁶_____ (1941)…小学校を²⁷国民学校に ナチスを模倣 義務教育6年→8年

社会運動・思想・学問の弾圧

28近衛文麿内閣

……『³⁰帝国主義下の台湾』ほか

²⁹_____ (東大) 辞職(1937)…日本の植民地政策を批判→反戦思想として右翼から攻撃

³¹人民戦線事件…人民戦線結成(=反ファシズム)をはかったとして検挙

第1次(1937)：³²日本無産党(左派)の結社禁止 加藤勘十、鈴木茂三郎ら大量検挙

……反ファシズム人民戦線を主張

第2次(1937)…³³労農派(共産党とは対立していた)マルクス経済学者も検挙

<例>³⁴大内兵衛(東大)、³⁵有沢広巳(東大)、³⁶美濃部亮吉(法大：のち東京都知事) →後に無罪

³⁷_____ (東大) 休職(1938)…自由主義経済学 『³⁸ファシズム批判』ほか発禁

米内光政内閣

³⁹_____の著作発禁(1940)…『古事記及日本書紀の研究』など 不敬として

経済統制の強化 ☆⁴⁰_____ …軍事だけでなく、経済・政治・社会・文化など国家の総力を動員

近衛文麿内閣 長期戦に対応すべく軍需品を最優先(⁴¹統制経済)

1937. 統制三法…輸出入品臨時措置法、臨時資金調整法、軍需工場動員法 ←且中戦争

⁴³_____ (⁴⁴1938) …政府は⁴⁵議会の承認なしに「人的及物的資源ヲ統制運用」できる

⁴⁶_____ (内閣直属：1937～)が⁴⁷物資動員計画を立案

⁴⁸電力管理法(1938) …電力も国家管理 国策会社の日本発送電株式会社が独占

平沼騏一郎内閣 ⁴⁹_____ (1939) …勅令で軍需工場への強制的徴発 「白紙」

→以後、⁵⁰賃金統制令(1939)、⁵¹価格等統制令(1939：公定価格制。実際には⁵²闇価格が発生)、

小作物統制令(1939：食糧増産の必要性)、生活必需物資統制令(1941)、等々

国民生活の圧迫 ← 物資(特に食料)の不足 ← 民需の制限

悪性のインフレ ← 赤字公債や紙幣の乱発 ← **軍事費の拡大**

国際収支の悪化 ← 軍需物資の輸入急増

☆⁵³_____ …工業原料や燃料(1938～)から生活物資(1940～)へ及ぶ

〈例〉衣料品、マッチ、砂糖など…⁵⁴_____ を併用

米穀…大都市で⁵⁵米穀配給通帳制(1941) → 全面的配給制(1942 食糧管理法)

農家には⁵⁶_____ (1940～) …政府指定価格での買い上げを強制

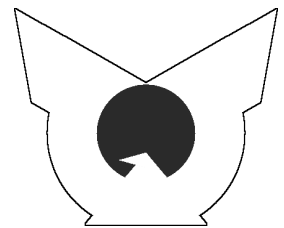
→生活の切りつめを強要…「⁵⁷ぜいたくは敵だ」などのスローガン

1940. 奢侈品等製造販売制限規則(七・七禁令)

他に、中小企業の強制的整理統合(企業整備令)、国内向け綿製品の生産・販売の禁止など

※(それでも)資材(軍需用)の不足 → 「円ブロック」(日本・満州・中国占領地)では自給不可

対米英貿易も縮小 → 南方へ進出



【正誤問題に挑戦】 <1995年本試験、1997年日本試験より>

大政翼賛会の旗

①新体制運動が始まると、すべての合法政党がつぎつぎに解散し、大政翼賛会に参加した。

②近衛文麿内閣は国家総動員法を成立させて、議会の承認をへれば物資や労働力などを軍需のために優先的に運用できるようにした。

ファシズム体制の形成 ☆日本型ファシズム…¹天皇制の下に軍部や右翼がファシズム的支配

²皇国史観 …天皇統治の正統性・永続性を強調する歴史観

『³国体の本義』…文部省思想局発行(1937.3)→全国の学校・官庁へ配布

……古事記・日本書紀を基に国体明徴とその尊厳、君臣の大義を説く
日本は天皇中心の家族国家とする 「陛下の赤子」

4 近衛文麿内閣

⁵教学局の設置(1937)…文部省思想局を改変 国家主義育成 『臣民の道』(天皇と国家への忠誠を強調)

⁶国民精神総動員運動(⁷1937) …戦争遂行のため⁸軍国主義思想の注入

「⁹挙国一致、尽忠報国、堅忍持久」がスローガン

¹⁰産業報国会 (1938～) …各地で各工場ごとに設置(労働組合を解散) 「労資一体・産業報国」

平沼騏一郎内閣

¹¹興亜奉公日設置(1939～)…毎月1日、神社参拝・勤労奉仕・禁酒などを強要

☆¹²新体制 運動(1940～)…¹³近衛文麿中心 独・伊を模した一国一党をめざす 軍部も歓迎

14 近衛文麿(II)内閣

¹⁵大政翼賛会

成立(¹⁶1940)…上意下達機関 { ¹⁷総裁は首相、支部長は知事から
→下は¹⁸部落会、¹⁹町内会、²⁰隣組 に及ぶ

政友会・民政党・社会大衆党ら既成政党は解散 →²¹翼賛議員同盟を結成

さまざまな団体が大政翼賛会の傘下に …戦争遂行や国民の動員に役割大

<例>²²大日本産業報国会(1940)、²³大日本青少年団(1941.1)、²⁴大日本婦人会(1942)など

²⁵皇紀二千六百年記念式典(1940)…神武即位より2600年として皇居前広場で5万人の式典

²⁶国民学校令 (1941)…小学校を²⁷国民学校に ナチスを模倣 義務教育6年→8年

社会運動・思想・学問の弾圧

28 近衛文麿内閣

……『³⁰帝国主義下の台湾』ほか

²⁹矢内原忠雄 (東大) 辞職(1937)…日本の植民地政策を批判→反戦思想として右翼から攻撃

³¹人民戦線事件…人民戦線結成(=反ファシズム)をはかったとして検挙

第1次(1937): ³²日本無産党(左派)の結社禁止 加藤勘十、鈴木茂三郎ら大量検挙

……反ファシズム人民戦線を主張

第2次(1937)…³³労農派(共産党とは対立していた)マルクス経済学者も検挙

<例>³⁴大内兵衛(東大)、³⁵有沢広巳(東大)、³⁶美濃部亮吉(法大:のち東京都知事) →後に無罪

³⁷河合栄治郎 (東大) 休職(1938)…自由主義経済学 『³⁸ファシズム批判』ほか発禁

米内光政内閣

³⁹津左 左右吉 の著作発禁(1940)…『古事記及日本書紀の研究』など 不敬として

経済統制の強化 ☆総力戦 …軍事だけでなく、経済・政治・社会・文化など国家の総力を動員

近衛文麿内閣

長期戦に対応すべく軍需品を最優先(統制経済)

1937. 統制三法…輸出入品臨時措置法、臨時資金調整法、軍需工場動員法 ←且中戦争

国家総動員法 (1938)…政府は議会の承認なしに「人的及物的資源ヲ統制運用」できる

企画院 (内閣直属：1937～)が物資動員計画を立案

電力管理法(1938) …電力も国家管理 国策会社の日本発送電株式会社が独占

平沼騏一郎内閣

国民徴用令 (1939)…勅令で軍需工場への強制的徴発 「白紙」

→以後、賃金統制令(1939)、価格等統制令(1939：公定価格制。実際には闇価格が発生)、

小作料統制令(1939：食糧増産の必要性)、生活必需物資統制令(1941)、等々

国民生活の圧迫←

物資(特に食料)の不足←民需の制限

悪性のインフレ←赤字公債や紙幣の乱発

国際収支の悪化←軍需物資の輸入急増

←軍事費の拡大

☆配給制 …工業原料や燃料(1938～)から生活物資(1940～)へ及ぶ

〈例〉衣料品、マッチ、砂糖など…切符制を併用

米穀…大都市で米穀配給通帳制(1941)→全面的配給制(1942 食糧管理法)

農家には米穀供出制 (1940～) …政府指定価格での買い上げを強制

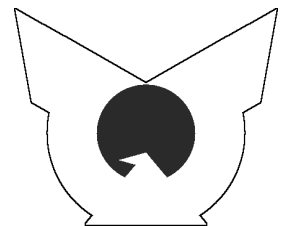
→生活の切りつめを強要…「ぜいたくは敵だ」などのスローガン

1940. 奢侈品等製造販売制限規則(七・七禁令)

他に、中小企業の強制的整理統合(企業整備令)、国内向け綿製品の生産・販売の禁止など

※(それでも)資材(軍需用)の不足→「円ブロック」(日本・満州・中国占領地)では自給不可

対米英貿易も縮小→南方へ進出



【正誤問題に挑戦】〈1995年本試験、1997年日本試験より〉

大政翼賛会の旗

① 新体制運動が始まると、すべての合法政党がつぎつぎに解散し、大政翼賛会に参加した。

② 近衛文麿内閣は国家総動員法を成立させて、議会の承認をへれば物資や労働力などを軍需のために優先的に運用できるようにした。